

横須賀市立市民活動サポートセンター

令和 6 年（2024 年）度事業報告

■概要

YMCA コミュニティサポートは、2024 年度、横須賀市立市民活動サポートセンターの指定管理者としての働きを中心に、市民活動の場を提供し、横須賀市、横須賀市周辺にあたる三浦半島地域の市民活動支援を行った。

■事業報告

1. 公益活動に資する管理運営事業

1) 市民活動サポートセンター管理運営事業

新館長での新たな体制で、指定管理第 5 期の 3 年目を迎えた。今期の折り返しの年なので、仕様書に挙げている横須賀市に提案したことを着実に実現すべく、事業計画に沿い実施と落とし込んできた。

（1）施設管理業務

団体の活動は徐々に回復してきているとはいえ、コロナ禍前の水準にはなかなか戻らない。「コロナ以降」の市民活動の動向を注視し、新たなニーズを模索しつつ、センターとしてできる限り団体が活動できる場の提供を心掛けてきた。しかし、コロナ前の利用者数には戻らず、コロナ後のニューノーマルな様式となってきているのではないかと考察している。

<利用者数推移>

4 月	2,833 名（前年度比 101%）
5 月	2,705 名（前年度比 102%）
6 月	2,677 名（前年度比 97%）
7 月	2,428 名（前年度比 110%）
8 月	2,348 名（前年度比 94%）
9 月	2,732 名（前年度比 112%）
10 月	2,681 名（前年度比 116%）
11 月	2,489 名（前年度比 103%）
12 月	2,383 名（前年度比 101%）
1 月	2,235 名（前年度比 105%）
2 月	2,145 名（前年度比 97%）
3 月	3,058 名（前年度比 106%）

年間利用者数 30,714 名（前年度 29,569 名 前年度比 103%）

（2）情報収集提供業務

①2024 年度広報実績

- ア. 活動団体のチラシ等の配架
- イ. みんなの掲示板、何でもインフォメーションへのポスター掲出
- ウ. 活動紹介コーナーの展示団体コーディネート
(センターエリア、フロントエリアの2か所)
- エ. ラジオ出演団体コーディネート (FM ブルー湘南)
- オ. ネット情報配信 毎月5日 (メールマガジン「のたろんメール」)
- カ. のたろん通信 (毎月 A4 表裏)、情報誌のたろん (年4回4ページ) 発行 各 2,700 部
- キ. ボランティア情報冊子の発行 (6月 1,200 部)
- ク. 夏のボランティア・市民活動体験 イベント情報冊子の発行 (6月 1,200 部)
- ケ. ひくてあまた月間 情報冊子の発行 (10月 3,000 部)
- コ. SNS での情報発信 (Facebook、X(旧 Twitter)、YouTube)

②利用者アンケートの実施

利用票の裏面の「利用者の声」欄にて利用者のご意見、ご要望を収集。ご要望については、指定管理者からの回答をセンターのHPに掲載するとともに館内に掲示している。

4月	ご意見	7件	ご要望	0件
5月	ご意見	8件	ご要望	1件
6月	ご意見	12件	ご要望	2件
7月	ご意見	10件	ご要望	1件
8月	ご意見	14件	ご要望	2件
9月	ご意見	8件	ご要望	0件
10月	ご意見	7件	ご要望	0件
11月	ご意見	8件	ご要望	1件
12月	ご意見	9件	ご要望	1件
1月	ご意見	4件	ご要望	1件
2月	ご意見	8件	ご要望	0件
3月	ご意見	8件	ご要望	0件
2024年度 ご意見 103件 ご要望 9件 (前年度 95件 ご要望 14件)				

(3) 相談業務

①窓口での相談対応

【内容】

- ・市内各種情報、周辺観光情報の提供
- ・市民の方からのボランティアについての相談
- ・団体の活動内容についての問い合わせ
- ・施設の利用についての相談

【成果】来館相談 438件 電話相談 866件

②常勤職員が対応する相談

【内容】

- ・団体設立についての相談 (活動を始めたい、団体を立ち上げたい、法人化したい)
- ・団体運営についての相談 (助成金、会計、規約などについて)
- ・市の各課からの相談 (団体の活動状況、NPO 法人の活動内容など)
- ・こども食堂への寄付の相談

【成果】来館相談 44 件 電話（メール）相談 31 件

③各種相談会の開催

【内容】

登録団体の協力を得て、様々な分野の相談会を開催した。

【成果】

- ア. 介護相談会 （神奈川県介護福祉士会 三浦横須賀支部） 年間 6 名
 - イ. いまさら相談室 （認定 NPO 法人産業クラスター研究会） 年間 20 名
 - ウ. 横須賀知恵袋 （土業集団 横須賀知恵袋） 年間 23 名
 - エ. 成年後見制度利用無料相談会 （コスモス成年後見サポートセンター） 年間 6 名
- それぞれ月 1 回

④サポートセンター NPO・ボランティア団体相談会

【内容】

月に一度、職員が相談員となり、市民活動についての相談会を開催した。

（月に 2 団体までの予約制）

【成果】

4 月～9 月 4 団体相談、10 月～3 月 7 団体相談、 年間 11 団体

（４）連絡調整業務

（主たる連絡調整先）

- ①市の各部署
- ②中間支援組織連携（生涯学習センター、ボランティアセンター、シルバー人材センター）
- ③商工会議所、青年会議所、産業振興財団との連携
- ④商店街との連携（ヨコスカダウンタウンクラブ他）
- ⑤企業との連携（リドレ横須賀、ノジマモール、ソフトバンクなど）
- ⑥よこすか子育て応援ネットワーク、よこすか三浦子ども食堂・地域食堂ネットワーク事務局
- ⑦横須賀市立市民活動サポートセンター運営懇話会 開催支援

（５）自主事業

サポートセンターの目的に合致した事業を独自の財源で行った。

①大型印刷物出力サービス

【内容】大型印刷機で A1 や長尺の大きな印刷物の請負印刷を行った。

【成果】95 団体（収入 271,000 円）

②中ロッカーの設置、一時預かりサービス

【内容】団体の年契約のロッカーと一時預かりのサービスを提供した。

【成果】年貸ロッカー 12 団体利用（収入 43,200 円）

一時預かりサービス のべ 228 件利用（収入 20,570 円）

③印刷機設置及びコピー用紙等消耗品販売

【内容】印刷機等を設置して利用者に提供。また、コピー用紙やラミネーターフィルムを販売提供した。

【成果】コピー機（収入 594,310 円 前年度 535,910 円 前年度比 110%）
印刷機（収入 1,119,791 円 前年度 1,255,630 円 前年度比 89%）
用紙等販売（収入 258,830 円 前年度 273,150 円 前年度比 95%）

④パソコン講座

【内容】市民活動のために必要なパソコンのスキルアップ講座を提供。情報化支援団体の協力を得てボランティア講師を派遣してもらっている。

【成果】114 回 のべ 153 名受講（収入 242,800 円 前年度 217,200 円 前年比 111%）

⑤法人所有および寄付による備品貸し出し（のたろん文具）

【内容】スキャナーや各種文具の貸出

【成果】献品 15 件（のたろん基金収入 20,317 円）

2.公益活動に資する支援事業

1) ボランティア・市民活動人材育成事業

(1) ユース

1. 県立保健福祉大学 ボランティア市民活動論授業コーディネート

【内容】2 回の授業のコーディネートを担当した。

1 回目の講義は市内の中間支援組織の紹介、2 回目の講義は夏のボランティア・市民活動体験のエントリー団体の活動 PR を行った。

【場所】県立保健福祉大学

【成果】①4 月 23 日（火）受講生 45 名・施設側 7 名

②7 月 9 日（月）受講生 31 名・5 団体 9 名

① 紹介機関：よこすかボランティアセンター、横須賀基督教社会館、横須賀 YMCA、
三浦 YMCA グローバル・エコ・ヴィレッジ、三浦市民交流センター

②紹介団体：FunPlace39、ワーカーズ・コレクティブ キッズポケット、
てらこやさん、三浦半島パソコンサポートネットワーク、
ほのぼのサロン、

2. さぼせんサポーターズの活動促進

【内容】学生の登録ボランティアの活動。サポートセンターの事業の支援を通して地域活動に貢献した。

【場所】①三笠公園、②横須賀市立市民活動サポートセンター、③汐入駅周辺、④県立保健福祉大学

【成果】①カレーフェスティバル 5 月 18 日（土）19 日（日）50 名

②のたろんキッズディ 8 月 24 日（土）1 名

③赤い羽根共同募金 10 月 6 日（日）0 名 ※職員のみ 3 名

④わんぱくフェスティバル 11 月 17 日（日）3 名

⑤のたろんフェア 2025 2 月 7（土）・8 日（日）2 名

3. My Earth 体験会の実施

【内容】対戦型トレーディングカードの手法を活用した子ども向け地球環境教材の無料体験会。遊びながら地域の環境課題を知り、行動を起こすきっかけ作りの場とした。

【場所】市民活動サポートセンター

【成果】8月24日（土）学生ボランティア1名

4. 三浦半島ユースサポータープログラムの実施

【内容】ボランティア希望の学生に登録をしてもらい、学生ボランティアの派遣を希望する団体の情報を提供し、活動を促した。

【場所】市民活動サポートセンター、各団体の活動場所

【成果】登録学生ボランティア数14名、登録団体数28団体

5. 高校生ボランティア受け入れ

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】三浦初声高校3年生1名 1月30日～2月11日の7日間

（2）シニア

1. ひくてあまた月間

【内容】11月と12月に市内で開催される市民活動の場を紹介する冊子を10月に発行した

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】応募団体 22団体

2. 4Sクラブ

【内容】シニアによるサポートセンターサポートグループ。シニアの活動の場を提供し、地域での活動の支援を行った。

【場所】①②④⑤⑥市民活動サポートセンター ③三笠公園

【成果】①自治会、町内会についての討議 4月11日（木）6名

②チャイルドファクトリー 5月6日（月祝）5名

③カレーフェスティバル ブース運営支援 5月18日（土）19日（日）9名

④俳句の会 5月29日（水）6名、7月24日（水）7名、9月3日（火）6名、
10月30日（水）7名、11月28日（木）8名、2025年1月22日（水）10名、
3月14日（金）9名

⑤のたろんフェスティバルについて討議 1月22日（水） 12名

⑥のたろんフェア2025 2月8日（土）12名

3. いきいき市民塾【横須賀市立市民活動サポートセンター】

【内容】横須賀で活発に活動をしている方から活動を始めたきっかけや現在の活動について話を伺い、これから活動を始めようとしている方の活動のきっかけを提案した。

【場所】市民活動サポートセンター

【成果】①6月27日（木） 7名 ゲストスピーカー：マタニティベビーサロン

Little Happy 林さん

②9月28日（土）23名 ゲストスピーカー：水辺公園友の会 別府さん

③12月7日（土）20名 ゲストスピーカー：社交ダンス愛好家の仲間たち♪Harmony

高澤裕子さん

④2025年3月29日（土）13名 ゲストスピーカー：横須賀災害ボランティアネットワーク

岩間道夫さん

（3）現役社会人

1. サポセンソン

【内容】地域団体「テラコ学校」と協働し、千葉商科大学の戸川ゼミの学生が40代～50代の現役社会人にサポートセンターを利用してもらうためにどうしたらいいかをワークショップで考え、提案してもらう「地域ソン」を行った。

【場所】市民活動サポートセンター、ミライエ

【成果】11/15～17 15名

2) 市民活動の「場」の創出

(1) 横須賀市立市民活動サポートセンターでの場の創出

1. 夏のボランティア・市民活動体験

【内容】横須賀市内及び近辺で活動する団体の市民活動イベントやボランティア募集情報を紹介して市民の参加を促した。大学生の参加を推進するため、例年8月31日までだったものを9月15日まで延長した。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター 各団体の活動場所

【成果】7月15日（土）～9月15日（日）

エントリー団体 36団体 40イベント

総参加数：1603名（ボランティア：242名）

2. のたろんフェア 2025

【内容】横須賀市立市民活動サポートセンターの市民活動紹介フェア。8月に実行委員会を立ち上げ、準備を始めた。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】実行委員会 8月21日（水）15名、9月18日（水）16名、10月9日（水）15名、
11月6日（水）11名、12月20日（金）11名、1月22日（水）11名

参加団体説明会 12月20日（金） 60団体

のたろんフェア 2月8日（土）・9日（日） 95団体・一般来場者数合計 2,215名

参加団体報告会 2月21日 60団体

3. チャイルドファクトリー

【内容】団体に活動の場を提供するとともに、GW中の親子にワークショップを通じて市民活動を知ってもらう機会とした。

【場所】市民活動サポートセンター

【成果】5月5日（金祝）6団体

4. のたろんキッズディ

【内容】夏のボランティア・市民活動体験の一環として、団体に活動の場を提供した。「クリーニングディ」とコラボし、夏休みの親子向けのワークショップを行い、環境への関心を高めるきっかけともなった。

【場所】市民活動サポートセンター

【成果】8月24日（土）5団体

5. サポセン 25周年記念事業 のたろんフリーマーケット

【内容】横須賀市立市民活動サポートセンターの市民活動紹介。2月ののたろんフェアのミ

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】11月4日（日）28団体

3) 市民活動団体の組織強化支援事業

(1) NPO・ボランティア相談会

【内容】月に一度、団体の運営、活動についての悩みや活動の立ち上げについての相談会を開催した。相談員：沼崎真奈美

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】6月23日（金）1団体、7月29日（土）2団体、8月17日（木）2団体、
9月15日（金）1団体、10月17日（木）1団体、11月3日（日）2団体、
12月10（火）1団体、1月23日（木）1団体、2月14日（金）1団体、
3月12日（水）1団体

(2) コグニサイズ体験会

【内容】コロナ禍でフレイルが進行し、活動継続が不安視される団体の支援として、日常的に気軽に行っていただけるコグニサイズを活用し、フレイル予防の講座を開催した。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】①5月24日（金）19名、②8月23日（金）14名、③11月15日 6名、④2月14日 12名

(3) スマートフォン講座

【内容】はじめてスマートフォンに触る方から、使い方、機能の紹介と、LINEの基本的な使い方など、知識の習得、情報の発見・発掘と編集・発信のスキルを磨くことを目的とした市民講座をソフトバンク株式会社の協力で開催した。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】6月20日（木） ①入門編 13名、②LINE講座 14名 合計 27名
10月17日（木） ③入門編 13名、④LINE講座 18名 合計 31名
3月27日（木） ⑤防災アプリを活用したスマホ教室 13名
講師：ソフトバンク株式会社 スマホアドバイザー

(4) パソコン講座の開催

【内容】情報化支援団体より講師を派遣してもらい、市民活動団体向けのパソコン講座を開催した。センター主催講座は「ワード活用術」「エクセル活用術」「初心者入門」の3講座。その他に、フリープランとして団体ごとにカスタマイズした講座を提供した。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】センター主催講座 59回（79名参加 昨年度67回、66名）
フリープラン講座 55回（74名参加 昨年度52回、74名）

(5) 団体支援学習会

【内容】①法人格について学ぶ学習会を開催した。講師：岩堀行政書士

②あなたの強み（会員）を活かして団体をもっと元気にする学習会を開催した。

講師：山岸雅人氏

【場所】①②横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】①1月11日（土） 4名受講

4) 地域連携による地域課題、社会課題への対応

(1) よこすか子育て応援ネットワーク

【内容】横須賀市内で活動する子育て支援の団体のネットワーク。現在 37 団体と個人が登録している。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】①メーリングリストでの情報共有

②横須賀市市民協働モデル事業（よこすか PinCap 実行委員会）への協力

③ミーティングの開催（対面とオンラインのハイブリッドによる）

4月24日（水）6名、6月26日（水）6名、8月28日（金）7名

④横須賀市ピンクシャツデーへの協力 偶数月最終水曜日

⑤「みちあそび」の開催 6月1日（土）ボランティア 15名

⑥横須賀市主催ピンクシャツデー開催準備

⑦ミーティングの開催（対面とオンライン）10月30日 3名、12月25日 5名、
2月26日 5名、3月26日 10名

(2) よこすか三浦子ども食堂・地域食堂ネットワーク

【内容】三浦半島域内で活動する子ども食堂・地域食堂のネットワーク。現在 11 団体が登録（フードバンク含む）。

【場所】①②③横須賀市立市民活動サポートセンター ④総合福祉会館

【成果】①メーリングリストでの情報共有（助成金情報、食材提供情報など）

②助成金申請支援（推薦文の作成など）

③市民、企業および神奈川子ども食堂ネットワークを介しての寄付の受け取りと分配
のコーディネート

④ふれあいフェスティバルに参加し、活動を PR 6月2日（日）@総合福祉会館

(3) のたろんスマイルプロジェクト

【内容】サポートセンター主催のフードドライブとパントリー。「ご自由にお持ち帰りください」という形式で、置いてある食料を持って行って良いフードパントリーにすることで、食に困っているが声をあげられない方が助けを求めるハードルを下げる。また、家庭で食べきれない食品が、捨てられずに必要な方のもとに届くことで「食品ロス」を削減する。横須賀 YMCA と連携し、横須賀学院に食品寄付募集の協力を依頼中。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】4月1日～4月30日 寄付食品・提供食品 重量 23.30kg

5月1日～5月31日 寄付食品・提供食品 重量 15.72kg

6月1日～6月30日 寄付食品・提供食品 重量 30.60kg

7月1日～7月31日 寄付食品・提供食品 重量 26.90kg

8月1日～8月31日 寄付食品・提供食品 重量 15.60kg

9月1日～9月30日 寄付食品・提供食品 重量 12.30kg

10月1日～10月31日 寄付食品・提供食品 重量 20.20kg

11月1日～11月30日 寄付食品・提供食品 重量 16.36kg

12月1日～12月28日 寄付食品・提供食品 重量 23.19kg

1月 4日～ 1月 31日 寄付食品・提供食品 重量 20.47kg
2月 1日～ 2月 28日 寄付食品・提供食品 重量 15.92kg
3月 1日～3月 31日 寄付食品・提供食品 重量 37.24kg

(4) 地域の団体との連携による取り組み

【内容】リサイクリーションへの協力（ヨコスカママナビとの協働）

【成果】つめかえパックのリサイクルボックスを設置し、回収に協力した。

①年間回収実績 840枚

②12月2日～2月12日の期間は、横須賀高校の生徒が花王社員・ヨコスカママナビとともに、つめかえパックの回収率の変化を検証するため、ボックスのデザインを変容する取り組みを行った。

5) 市民活動の啓発活動

(1) 夏のボランティア・市民活動体験 参加団体説明会、報告会

【内容】夏のボランティア・市民活動体験のエントリー団体間の交流およびエントリーした活動の紹介及び報告

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】①説明会 6月28日（金）16団体17名

②報告会 9月27日（金）14団体12名

(2) 市民活動団体支援交流会

【内容】①「団体の継続を考える」をテーマに、スピーカーを迎えて意見交換を行った。

②「団体の継続を考える」をテーマに、館長吉永と座談会を通したクリスマス交流会

③「東日本大震災をうけ、①その時あなたは何をしていたか②経験しての備え」をテーマに意見交換を行った。

【場所】①②③横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】①7月20日（土）8団体 10名参加

スピーカー：こどもわかものリレー 代表 龍崎明信さん

②12月22日（日）4団体 8名参加

③3月9日（日）7団体 9名参加

(3) 能登半島地震避難所支援報告会

【内容】5月14日～21日に被災地・避難所支援をおこなった職員による報告会を実施した。

【場所】①横須賀市立市民活動サポートセンター、②衣笠病院 ③横須賀基督教社会館

【成果】①報告会 6月12日（金）16名参加

②報告会 7月5日（金）15名参加

③田浦地区座談会 8月1日（木）19名参加

(4) サポセン25周年記念事業 能登支援講演・中古輪島塗販売、避難訓練および団体交流会

【内容】サポートセンター25周年を記念して防災を考える機会をもった。安全・安心にお使いいただくため、参加者の方々と災害や防災について学び、いざという時も落ち着いて行動できるようサポートセンターで避難訓練を行った。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】11月3日（土）47名参加

第一部 ゲスト 柴田 剛氏（輪島市在住）

被災当時と現状についてのお話と輪島塗の販売

第二部 ゲスト 細川 順一氏（横須賀市地域支援赤十字奉仕団）

要支援者と一緒に避難する方法の講話と実際の避難訓練

3. その他

1) 委託事業

横須賀市市民協働モデル事業（ピンクシャツデー運動による啓発事業）

【内容】横須賀市市長室人権・ダイバーシティ推進課の提案事業を受託。実行委員会形式でピンクシャツデー運動による啓発事業を実施する、3年間の事業。

①実行委員会の開催：規約や役割分担の決定、3年間の事業計画を確認。

②CAP おとなワークショップの開催

③ピンクシャツデーイベント

【場所】①横須賀市立市民活動サポートセンター ②産業交流プラザ ③Y デッキ下（横須賀中央駅）④コースカベイサイドストアーズ2階センターステージ

【成果】①実行委員会結成（人権・ダイバーシティ推進課、地域コミュニティ支援課、教育委員会、当法人）

②CAP おとなワークショップ 10月5日（土） 22名参加

講師協力 認定NPO法人エンパワメントかながわ CAP スペシャリスト

③ピンクシャツデーイベント 10月30日（水）

④ピンクシャツデーイベント 2月23日（日）

以上